

★受賞おめでとうございます★

心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

☆令和6年度 長崎県知事表彰 松永 一仁 先生、川上 浩二 先生

～会長便り～

9月1日の社会保険講習会でのご挨拶でもおっしゃっていましたので、ご存じの方もいらっしゃると思います。長崎県薬剤師会の田代浩幸会長が9月10日をもって会長の職を辞されました。ここで多くは語りませんが、私は特にお世話になったと感じています。15年か16年前に県薬の社会保険委員会に委員として招集されて、そこからの付き合いでした。そこで教わった事が今の自分を作っていると言えると思います。今はただただ感謝であり、そして体調良くお過ごし頂きたいとの思いです。会長としてのご功績は沢山ありますが、特に昨年の「九州山口薬学大会長崎大会」でWEBでの参加を見送り現地出席者だけの大会にする決断をされ、素晴らしい大会になった事。「専門医療機関連携薬局推進事業」を県薬主導で始められた事が挙げられると思います。これから専門医療機関連携薬局を増やして、地域に貢献できる事業に育てたいものです。

県薬の執行部は来年の定時総会までの期間、筆頭副会長の井手陽一先生を中心に協力合って事業を推進してまいります。私も副会長の一人として努力してまいります。どうぞ、皆さんもご理解頂き県薬へのご支援も宜しくお願い致します。

～在宅医療・介護保険委員会だより～

佐世保市では今年の2月に、高齢者自身が役割や生きがいを持って住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを一層推進するため、「佐世保市老人福祉計画・第9期佐世保市介護保険事業計画」が策定されました。この計画では、高齢者が健康で自立した生活ができる環境づくりを目指し、介護保険サービスの充実や誰でも参加できる介護予防活動等が計画されています。佐世保市の総人口は令和5年10月1日現在で237,229人、そのうち高齢者人口(65歳以上)は77,965人、高齢化率は32.9%となっています。総人口は令和6年以降減少し続け、令和22年に177,766人まで減少すると推計されています。高齢化率は上昇し続け、令和22年には38.5%と、人口の約2.5人に1人が高齢者になると推計されています。

一方で老人クラブのクラブ数・会員数は全国的に減少傾向にあり、本市においてもクラブ数・会員数ともに年々減少しています。また、地域の活動についても一般の高齢者の約50%以上が参加を希望しているのに対し、要支援認定を受けた高齢者は約60%の人が参加を希望しない状況です。3人に1人が高齢者という社会を迎える中で、高齢者の社会参

参加を可能とし、心身ともに元気で過ごしていくため、各地域では高齢者対象の講座を開催したり、地域学校活動や放課後学習教室などのボランティア活動への登録や支援など、世代間の交流を促し高齢者の生きがいをつくることで、高齢者の孤立を防ぐ取り組みが行われています。

～佐世保地域リハビリテーション広域支援センター主催 高次脳機能障害研修会開催のお知らせ～

日時:10月27日(日)10:00～ 場所:燿光リハビリテーション病院

内容:「高次脳機能障害について(仮)」「症例報告」、参加費無料

申込期限10月18日(金)、詳細・申込方法は市薬事務所(Tel:24-3833)迄

～令和6年度佐世保市医療安全推進研修会開催のお知らせ～

日時:10月30日(水)19:00～ ハイブリッド開催

会場:中央保健福祉センター8階 講堂

内容:「長崎県のサイバー犯罪の情勢について」

講師:長崎県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 重松泰子氏

内容:「デジタル化進展に際してのサイバーセキュリティの基本」

講師:独立行政法人情報処理推進機構 横山尚人氏

参加費無料、申込期限10月18日(金)まで、右記QRコードから

～長崎国際大学薬学部 生涯教育セミナー開催のお知らせ～

日時:11月3日(日)13:30～ 開催形式:現地開催のみ

演題:mRNAワクチン最前線(仮)

講師:長崎国際大学 教授 佐々木 茂貴 先生

会場:長崎国際大学 7201教室 定員:100名程度

※事前登録が必要です。申し込みは右記QRコードから



佐世保市薬剤師会 会務報告【9月】

5日	在宅医療・多職種連携サービス作業部会(中川)	医師会館
11日	三役会	市薬会議室
12日	麻薬廃棄処理方法の検討(R6)試行の説明会 在宅医療・介護保険委員会研修会	ハイブリッド開催 薬国保会議室
15日	川棚川周辺の環境保全活動(井手)	川棚町
18日	常務会	市薬会議室
19日	生涯教育	ハイブリッド開催
25日	情報(広報)委員会	市薬会議室